

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野令和5年度ボランティア養成講座を開催しました。

令和5年9月20日

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和5年9月20日（水）、令和5年度ボランティア養成講座を開催し、5名の方に参加していただきました。

第一部は宮城野障害者福祉センター早坂健一所長より「障害者に対する合理的配慮について」の講話をいただきました。障害特性に応じて必要な配慮についてや本人にどんな配慮が必要かを聞いて対応することが大切であるということについてお話がありました。また、併せて宮城野障害者福祉センターを始めとした障害者福祉センターの役割や展開している事業について説明がありました。

その後、宮城野障害者福祉センター畠山作業療法士より「車いすの介助について」の講義をいただき、車いすの基本的な操作方法から介助する際の配慮事項などについて説明をいただきました。介助をするにあたり、本人にどんな配慮が必要か確認をすることや、本人の自立の妨げにならないような配慮の重要性についてのお話がありました。また、介助を行う時は同じ目線で、細かな声かけをすることの重要性についても説明がありました。

第二部の車いす介助の実技では、引き続き畠山作業療法士に説明をいただき、屋外での実技を実施しました。屋外に出る前に、マットを設置して段差の上げ下ろしなど、基本操作の説明、実技練習、センター3階廊下を使用しての自走体験を実施してから屋外での実技を行いました。参加者からは「段差を持ち上げるのは体重差があるので大変ではないか」、との話も聞かれましたが、基本操作を守ることで無理なく介助を行えることを体感していただくことができました。

その後、二人一組になっていただき、宮城野障害者福祉センターから幸町交番前まで介助体験をしていただきました。屋外を実際に介助する、また介助を受けることにより、道路にある凸凹や普段気にしていなかった傾斜を感じていただくことができ、介助される側の不安、介助する上での配慮事項の確認をしていただくことができました。

参加された方のアンケートの結果では「合理的配慮について理解することができた」、「実際に車いすに乗れたことが良かった」、「わかりやすい、丁寧な講義で良かった」等、参加された方がからも好評で、企画側が伝えたかったこともおおむね伝えることができた講座になりました。

また、参加された方のうち、4名方に協力ボランティアへの登録していただきました。

今後も、参加された方に障害理解をしていただき、協力ボランティアとして登録していただけるような内容の講座を企画し、開催していきたいと思っております。

【講座風景】



